

東北森林管理局における令和4年度重点取組（新規・拡充）

令和4年4月15日
林野庁東北森林管理局

1 広葉樹林を守るため、ナラ枯れ被害対策を強化します

ナラ枯れ被害対策には、これまで「被害木の伐倒燻蒸」「予防薬剤の注入」といった「守り」の取組を進めてきました。しかし、原因生物であるカシノナガキクイムシを駆除する「攻め」の取組を令和4年度から強化します（詳細：P7）。

2 林業の低コスト化に向けた新たな取組を開始します

林業の低コスト化に向けて、これまで伐採から造林までの一貫作業やコンテナ大苗の導入などに取り組んできました。下刈の低コスト化と素材生産の生産性向上について、3か年計画を令和4年度から開始します（詳細：P11-12）。

3 ウッドショック対策として高品質材の供給を拡充します

地域の需給動向を踏まえ、これまで国有林材の安定供給に取り組んできました。昨今のウッドショック等を背景に調達が難しくなっている高品質材について新たなブランド規格を制定し、令和4年度から供給を開始します（詳細：P15、別添資料）。

4 情報発信をより分かりやすくします

広報誌「みどりの東北」は、東北森林管理局の様々な取組をこれまで毎月発信してきました。本庁や他森林管理局に先がけてスマホ画面対応を初めて行うとともに、管内の名所や最新情報、各地の話題やイベントの紹介などを、令和4年度から誌面を刷新して発信します（詳細：広報誌「みどりの東北」令和4年4月号）。